

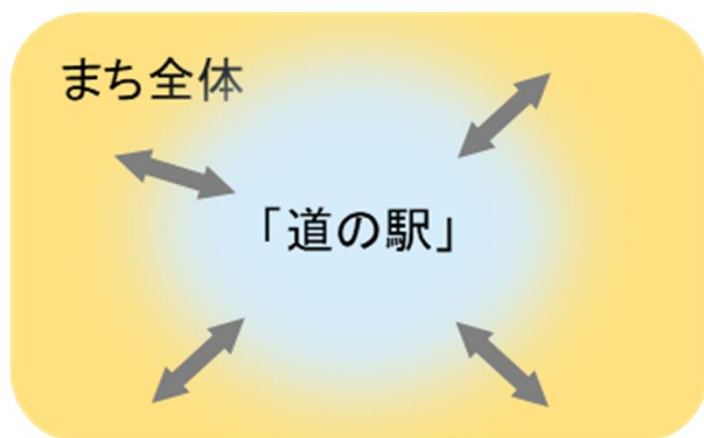
モデルプロジェクトの深化・展開

国土交通省 道路局
企画課 評価室
令和6年6月

道の駅第3ステージとは

「まち」と「道の駅」が一体で戦略的に連携してコンセプトの実現を成し遂げる取組

「道の駅」単体からまちぐるみの取組へ
～「道の駅」の戦略的な連携～

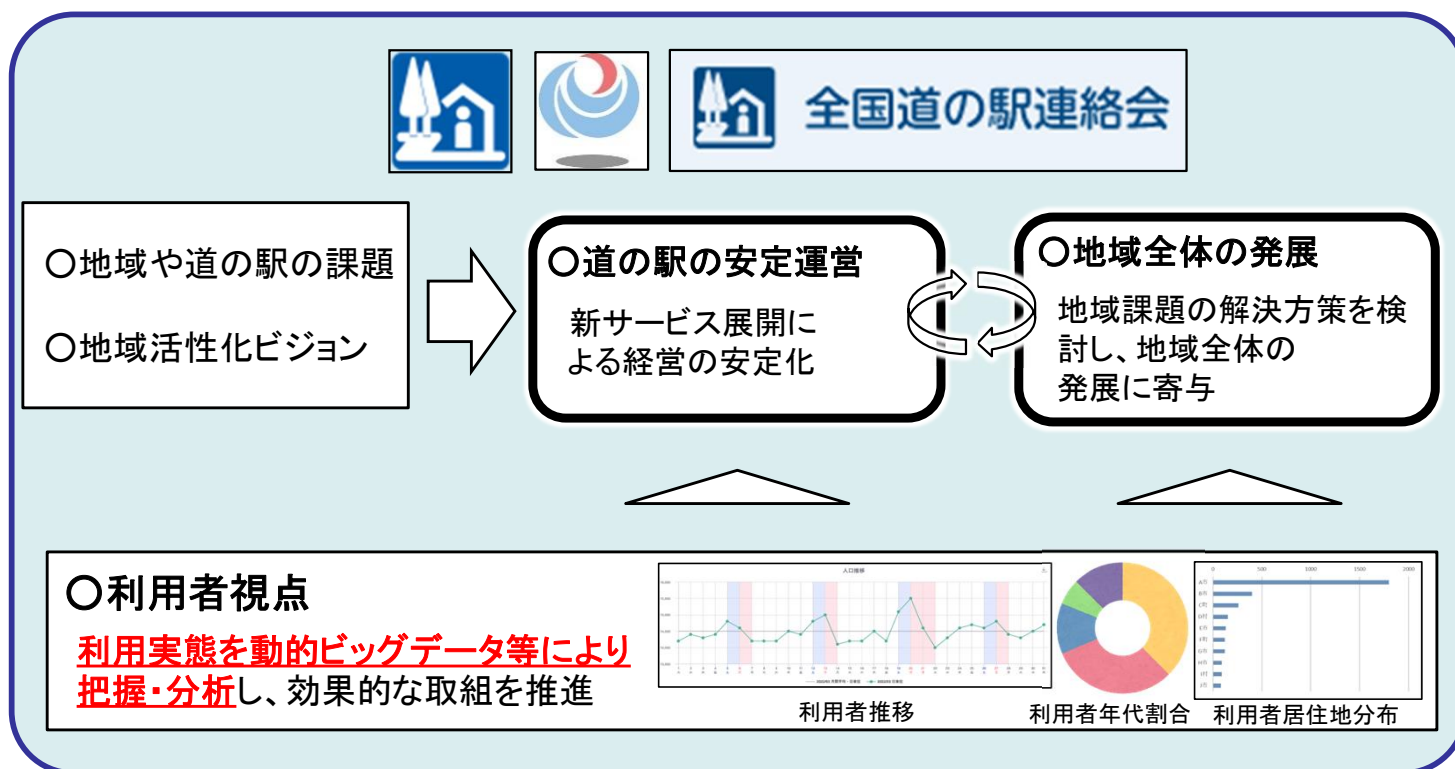


「まち」と「道の駅」が一体で発展



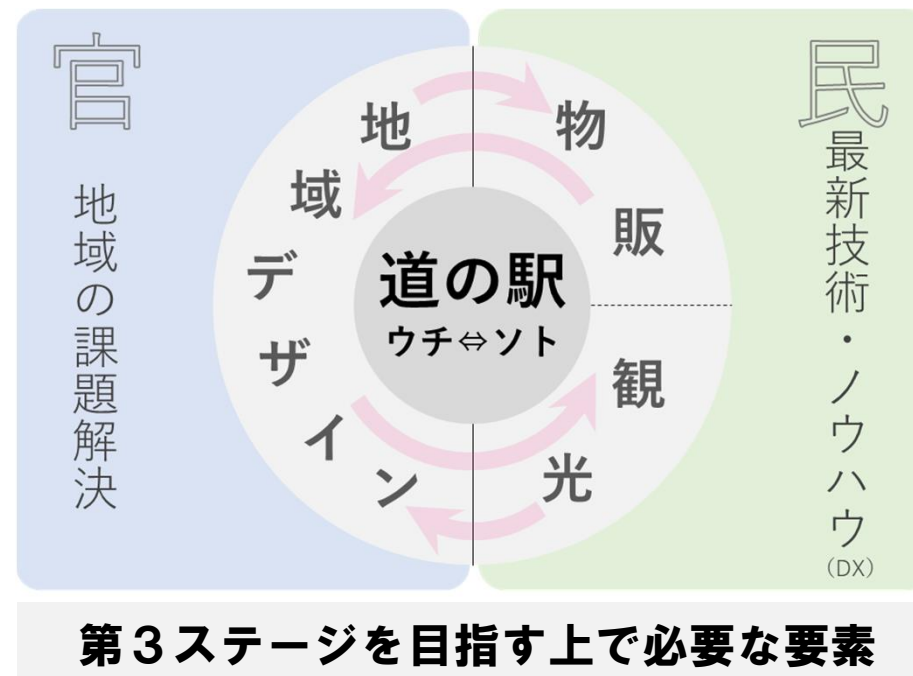
モデルプロジェクトを通じて、
第3ステージのエッセンスを具現化

- 「道の駅」を牽引する自治体、制度を所管する国、「道の駅」内外のネットワークを持つ全国道の駅連絡会が協働し、「道の駅の安定運営」と「地域全体の発展」の実現方策を探求するモデルプロジェクト。
- 第7回の第3ステージ推進委員会(令和4年8月)で議論し、取組を開始。



得られたノウハウを全国展開

- 「道の駅」の強みである「官民のハイブリッド組織」を最大限生かして地域の価値をアップデート。
- 顧客視点と「みんなごと」体制で地域価値を再定義し実現しようとするコンセプト明確化。



①顧客視点
(顧客の可視化)

②「みんなごと」体制
(チーム化)

③地域価値の再定義
(ブランド化)



ICT・データのパワーを借りた顧客分析、自治体×道の駅×住人による議論を経て、地域の目指すコンセプトを策定

- 茂木町とはどういう「まち」なのか、どういう魅力があるのかを、ICT・データ活用による顧客分析、住民や関係者等との議論を経て、自分たちの地域価値を再定義。



○ 「道の駅」は旅行者だけでなく、地元の人のための施設でもあり、茂木町では歴史や生活など、まち全体のストーリーが「道の駅」に訪れることにより体感できることを目指している。

歴史



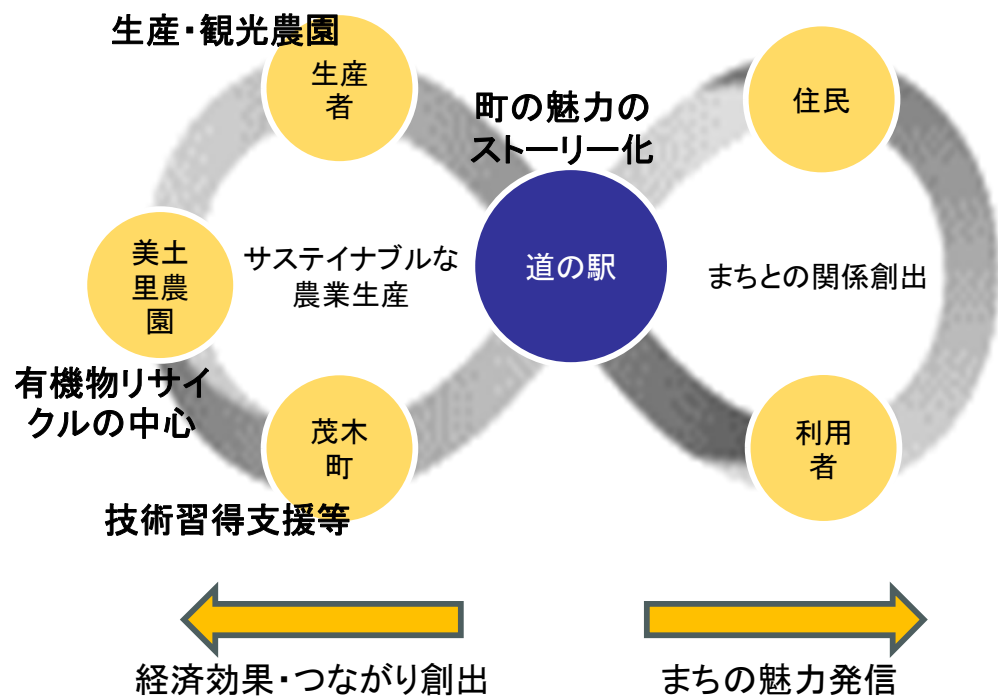
道の駅「もてぎ」は昭和61年の大水害の復興河川改修で生み出した敷地に立地

生活



町内で発生する有機物をリサイクルして生み出した高品質な『美土里たい肥』が茂木町の農業を支えている

- 茂木町は持続可能な暮らしの実現を目指し、まちと美土里農園と「道の駅」が一体となった取組を推進。
- 農業従事者の後継者不足などの課題に対し、技術習得支援や観光体験農園に加え、収穫物を「道の駅」へストーリーとともに販売することにより中山間地の自立した農業を目指している。



持続可能な暮らしの実現のために
まち全体が一体となる「しかけ」を構築



道の駅「もてぎ」の農家の「顔」が見える売り場。
背景にあるストーリーも含めて消費者へ届ける。

- 現在、道の駅「もてぎ」では第3ステージを体現するリニューアルに着手。
- 単なる施設の更新ではなく、まちのコンセプトである「しあわせの、自給自足。」の発信に向け、まちと一体で取組を推進中。

- 南房総市とはどういう「まち」なのか、どういう魅力があるのかを、ICT・データ活用による顧客分析、住民や関係者等との議論を経て、自分たちの地域価値を再定義。



ひよるまち。
南房総市

ここは、2つの海に囲まれて、
日の出から、日の入りまで、太陽とともに暮らすまち。
山の幸も海の幸も豊富で、花も一年を通して咲き誇る。
サイクリングに、SUP、キャンプなど
数多くのアクティビティを楽しむ人で溢れている。
あかるくて。あつたかくて。たのしくて。
人の心を、スカッと晴れ渡らせてくれる。
それが、ひよるまち・南房総市。

東京から、たった1時間30分。
最近、ココロが曇ってるな、と感じたら、
どうぞフラットお越しく下さい。
このまちのあつたかい住人みんなでお待ちしています。

- 南房総市は地場産業と観光の一体的推進を実施。市内8つの「道の駅」を集荷拠点とし域内物流の仕組みを構築。
- 2つの「道の駅」に6次産業施設(枇杷加工場、生乳加工場)を設置。新たに地元野菜や果物を原材料とした菓子製造機能を加えるなど地域全体の6次産業化を推進。



地域の農産物の規格外品など未活用品を使い、エシカル消費の浸透を促す商品開発を展開。
新設される総合加工場では、地域一体となったストーリーを持つ商品開発を推進。

- アクアラインを使えば東京から1時間半程度という立地を生かし、住んでよし訪れてよしのまちづくりを目指している。
- 「道の駅」自らが戦略的なSNSでの発信やインバウンド受け入れ体制を強化し、地域を巻き込んで「まちぐるみ」の取組の展開を図る。



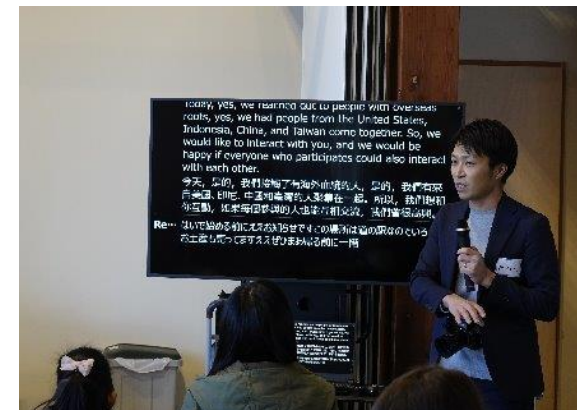
アクアライン経由で
1時間半程度



いいね！209件
hinanosato344 栗原工房作品入荷。
独特の風合いを持つ、栗原さんの作品。
手に持って優しく包み込むと心が和みます。
ちなみに、左端のイカツイ方は、今年の干支の辰です。
作品名 辰五郎
干支シリーズ集めている方、チャンスです。在庫は、5個です。

- #南房総
- #ハレるまち
- #ハレるまち南房総
- #三芳村
- #ほっこり
- #ほっこり三芳村
- #南房総観光
- #南房総日帰り旅行
- #道の駅好きと繋がりたい
- #南房総好きと繋がりたい
- #辰
- #干支

「ハレるまち」をキーとしたSNS展開

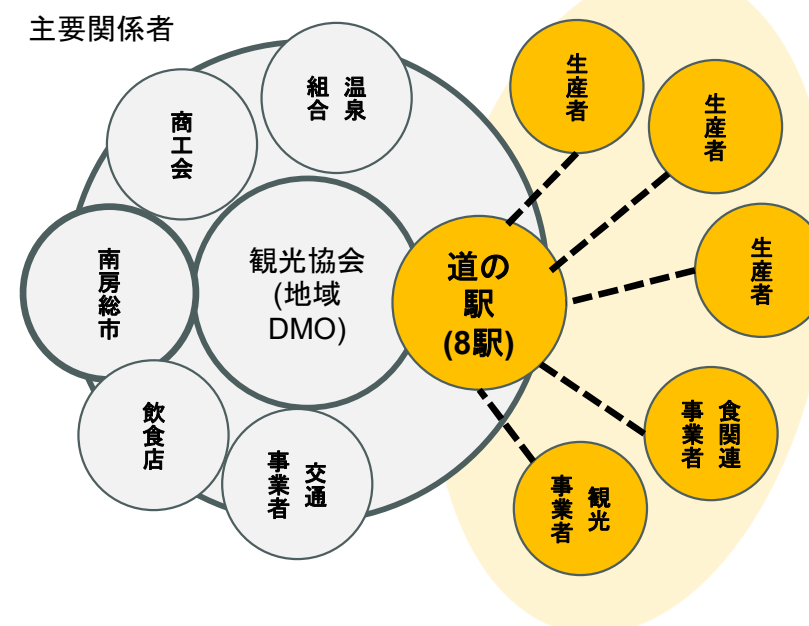


多様な関係者でのインバウンド講習

- 市内8つの「道の駅」のみならず、観光協会等とも連携し、DMOを組織する取組を進めている。
- 南房総市のポテンシャルである「ハレるまち」を感じる体験型ツーリズムの開発を進め、道の駅「とみうら」をハブとする地域ネットワークを形成し、地域全体の観光振興を目指す。



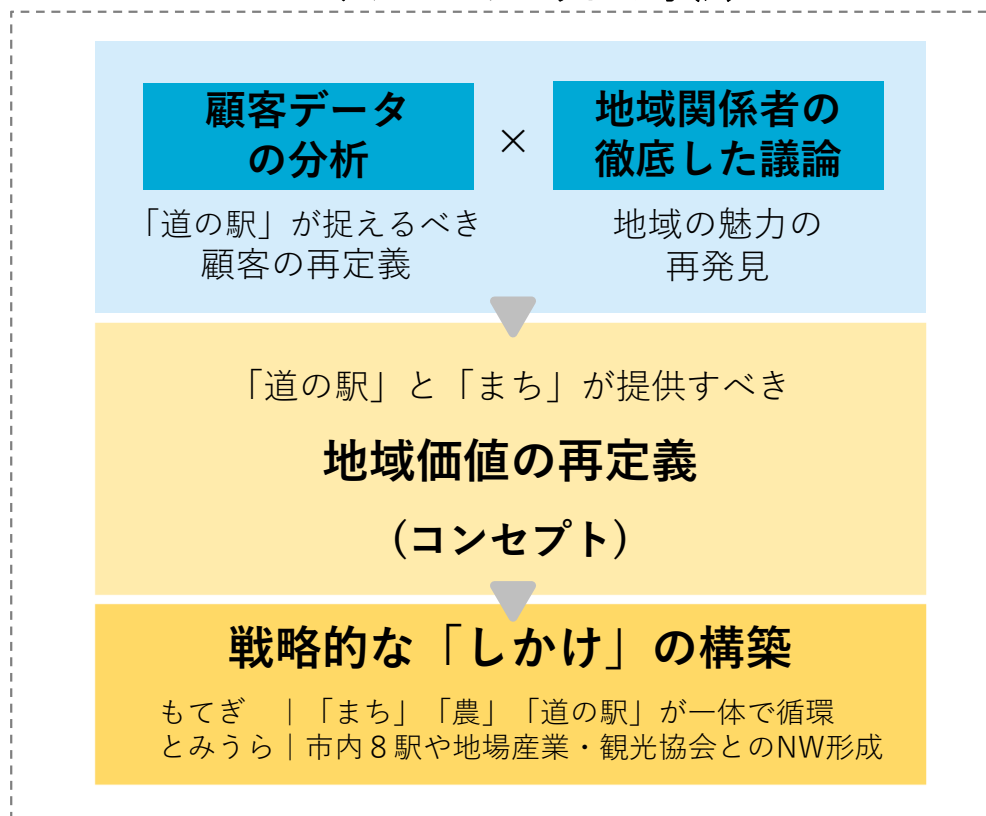
南房総市の「体験型ツーリズム」推進にむけて「人」をつなぐ「しかけ」を構築



体験型ツーリズムの開発を進め、道の駅「とみうら」をハブとする地域ネットワークを形成し、地域全体の観光振興を目指す

- 第2ステージは「道の駅」を魅力的にすることにより、結果として地方創生に導く取組であることに対し、第3ステージは「まち全体」を中心にコンセプトを共有し、「まち」と「道の駅」が一体で進める取組である。
- モデルプロジェクトを通じて、「道の駅」が戦略的に地域を巻き込んでいくエンジンとなる「しかけ」を検証し、「道の駅単体からまちぐるみの取組へ～道の駅の戦略的な連携～」を具現化。

モデルプロジェクトの手法



まちぐるみで地域の価値を再定義し、
来訪者だけでなく、
その地域に住む人にとっても幸せを感じられ、
持続可能な仕組みであること

「道の駅」第3ステージによる
地方創生の姿